

科目名	ソフトウェア演習	英文表記	Software Practice	H23.3.18		
科目コード	1205					
教員名：神里志穂子，金城伊智子 技術職員名：佐竹卓彦，比嘉修				作成		
対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
情報通信システム工学科	1年	必	履修	1単位	演習	後期
目標及び評価方法	目標項目		評価方法及びその割合			
	①Unixのシステム構成の理解，基本コマンドなどを修得し，システムの基本操作，ファイルの常態確認ができるようにする		①レポート（70%）			
	②Unix，プログラミングの演習，gnuplotによるグラフの作成などを通してレポートのまとめ方を学ぶ		②レポート（30%）			
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	
	○		◎		JABEEプログラム教育目標	
授業概要、方針、履修上の注意	Unixの基本操作やプログラミングの実習を通して，サーバなどに利用されているUnixの基本利用技術をマスターし，マルチユーザの仕組みを体験することで，サーバとユーザの関係の基礎を学ぶ。Unixシステムの基本操作を修得，レポートの基本的なまとめ方の学習，考察を行うためのデータの取り方の工夫などに関して修得する。					
教科書・教材	教員自作のプリント，パワーポイントの資料					
授 業 計 画						
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容			予 習 項 目
1	ガイダンス	2	講義の進め方や課題の提出方法を説明する。Unixの特徴や概念について学習。演習のための環境設定。			
2	ディレクトリ構造	2	ディレクトリ構造の理解。ファイルとディレクトリの管理コマンドの学習（Unixコマンドのレポート課			
3	ファイル操作の確認	2	Vi, emacsの利用について学習する（レポートの書き方チェック）			
4	データ処理	2	データの抽出，組み合わせ処理に関して学習			
5	cygwinの設定	2	Unix環境の設定（組合せ処理のレポート課題）			
6	プロセスと属性	2	プロセスの状態，ファイルとディレクトリの属性に関して学習する			
7	データの編集	2	データの一括編集，ファイルの集積と記憶領域の節約に関して学習する			
8	中間試験	2				
9	プログラミング演習	2	プログラミング演習とレポート課題			
10	プログラミング演習	2	プログラミング演習とレポート課題			
11	gnuplot演習	2	gnuplotの設定と演習			
12	gnuplot演習	2	gnuplotの設定と演習			
13	プログラミング演習	2	プログラミング演習			
14	プログラミング演習	2	プログラミング演習			
15	プログラミング演習	2	プログラミング演習とレポート課題			
期末	期末試験	[2]				
学習時間合計		30	実時間		25	
学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など）						

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)